

研究課題名	肝性脳症にて入退院を繰り返す50代男性の一症例を振り返る
研究機関名	武藏野赤十字病院
研究責任者	所属 看護部 C-10 病棟 氏名 牧野諒子
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認日 ~ (西暦) 2026年 7 月
研究の意義・目的	肝硬変の原因は多様であり、病態全体を含め多くの合併症を有している。日頃から肝硬変の病態の理解に難しさを感じており、今まで行ってきた看護も不安を抱きながら行っていた。今回肝性脳症に対してBRT0を行った患者を受け持ち、医師と情報共有していく中で、病態の理解が看護を提供する上で重要であると感じた場面があった。そのため、本症例にて病態や看護実践を振り返り、今後の看護に活かしたいと考え、症例検討を行うこととした。
研究の方法 (対象期間含む)	電子カルテ（2024年1月～2025年7月までの記録を参照）より、患者の基本情報、身体所見、画像検査結果、生理検査結果、血液検査結果、他職種のカルテ記録から、患者の状態をアセスメントする。肝硬変患者は、多くの合併症を有しているため、本症例では肝性脳症を中心にアセスメントを行う。アセスメントをもとに、看護実践を振り返り、今後の課題を明らかにする。
①試料・情報の利用目的および利用方法 ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③試料・情報の取得の方法 ④利用する者の範囲 ⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①～③通常の診療で取得された診療情報をもとに、患者の状態をアセスメントし、看護実践を振り返る目的で利用する。当院で定める個人情報の安全管理マニュアルの中に記載されている匿名加工情報の加工方法をもとに、個人情報を加工し、特定の個人を識別することができないようにする。また本研究を、2026年7月に開催予定の急変予防看護研究会で発表する予定である。 患者の基本情報、身体所見、画像検査所見、生理検査結果、血液検査結果、他職種のカルテ記録 ④研究責任者 牧野諒子 ⑤武藏野赤十字病院 C-10病棟 牧野諒子 武藏野赤十字病院 院長 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合せ 〒180-8610 東京都武藏野市境南町1-26-1 武藏野赤十字病院 所属 看護部 C-10病棟 氏名 牧野 諒子 TEL : 0422-32-3111 (代表) 22600 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525